



ain

2023 A MAGAZINE ALL ABOUT "TILES" No. 05

Feature

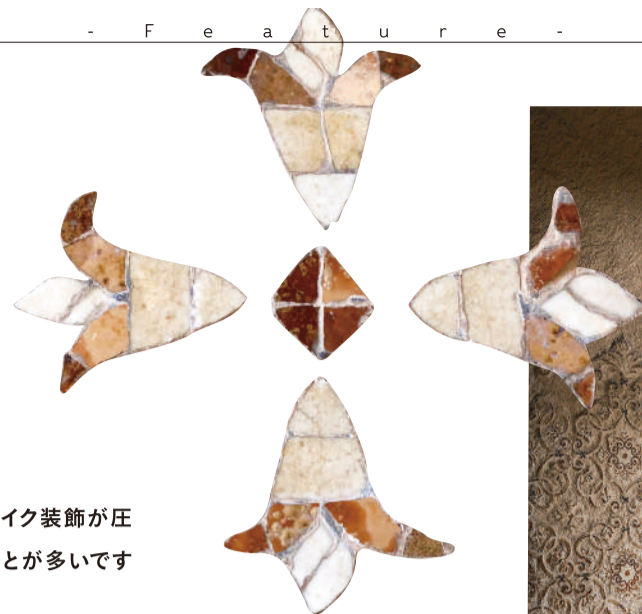
タイル職人さん、 お気に入りの場所を教えてください

“何も知らずに空間に足を踏み入れた途端、空間全体に広がるモザイク装飾が圧巻でした。私たちが携わる日々の施工現場ではタイルのみを扱うことが多いですが、これはタイルと漆喰がコラボレーションしていますね。

モザイクタイルで表現した柔らかな曲線の模様と、丁寧に櫛目引きされた漆喰が奥行きのある壁を実現しており、当時の職人を思うと手が混んでいるなと思います。穏やかで重厚な歴史ある空気感が漂い、年月が経てば経つほど味が出る。

素晴らしい場所ですよ” — タイル職人 佐々木 康至

佐々木康至 株式会社マイト 代表取締役・タイル職人。Instagramでは日々の現場の様子を広く紹介している。
Instagram @matekoi



床と壁の境目もアートのように、モザイクタイルが美しいグラデーションで繋いでいる。また宝相華の模様で囲われている室内にある時計や照明なども竣工当時のもの。中身は現代の機器に更新しながら受け継がれている。

日本で最も長い歴史を持つ博物館である東京 上野にある東京国立博物館。展示室と展示室を繋ぐ本館の1Fラウンジにモザイクタイルの装飾壁が広がります。

タイルに描かれているのは唐草とも呼ばれ、仏教美術で古くから用いられる宝相華の模様。

一つひとつ細かくカットされたモザイクタイルと共にゆるやかなアーチの梁、照明やドアなど空間の他の要素と呼応し紋様は無限に続く様に描かれています。

タイル職人 佐々木さんによるとまずタイルを張り、その後漆喰を塗ったのちに掻き落としをし、模様をつけていくそう。この張り方から空間に込めたストーリーや思想までを空間に凝縮し、さりどて優れた芸術性が表現されていることが窺えます。

このラウンジはこれまでも修復が行われながら1938年の本館開館当時の姿を保っています。展示鑑賞の合間に人々がひと息つくひとときを、静かに尊厳を保ちながら見守っている空間です。



東京国立博物館

東京都台東区上野公園13-9
開館時間 9:30-17:00
休館日 月曜日（祝・休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始
・そのほか臨時休館・臨時開館あり
・特別展の開館時間は別途ご確認ください。
・入館は開館の30分前まで
<https://www.tnm.jp/>



mold Casting

鑄込み

タイルの作り方は大きく乾式、湿式と呼ばれる2つの作り方がある。原料となる土は山のもので同じだが、主な違いは成形方法だ。

乾式は金型に原料を入れ圧力をかけるが、湿式では原料に水分を加え成形を行う。お菓子に例えると、乾いたまま型に入れ成形する干菓子と焼く前のしっとりとしたクッキー生地の違いといったところだろうか。

乾式に比べ湿式は粘性が高いため、自由な形を作ることが最大の魅力だ。中でも「鑄込み」と呼ばれる製法は石膏などで型を作りそこに生地を流し込んで固める、さながら彫刻のような作り方だ。一般的にタイルと聞くと平たく薄いものを想像しがちだが、鑄込みで作るとブロックのように立体性を持たせたり、さらに凹凸をつけたりとさまざまな形に挑戦できる。また、乾式では直線的でエッジの立った仕上がりが比較的多いが、エッジに丸みを出したり、柔らか

い印象や表現を楽しむことができることも鑄込みの特徴だ。

一方、鑄込みは原料に水分を含んでいることで生地の収縮率が大きく、特に立体的な形の焼成には緻密なコントロールが求められる。季節によって気温や湿度が異なる窯の中で、厳密に同じ色や柄を出すことはほぼ不可能だ。逆にいえば量産品の様に全く同じ色や柄が出ないからこそ、鑄込みでは散えて焼きむらを引き立たせた表現を行ったり特徴として活かすことができる。

このような特性から、もしオリジナルのタイルを作ってみたいと思ったら比較的取り組みやすい。金型を使わないため初期コストも乾式より抑えられる点は、意外と知られていない事実だ。

作りたい形状から表面までこだわり素材を削る、そんなプロセスもきっと空間の精力に繋がっていくことだろう。

貼り巡る旅 Vol.5

イタリア、ミラノ。

国際家具見本市ミラノ・サローネが開催されるなど、世界のインテリアの中心地であるイタリア、ミラノ。タイル業界においてもイタリアはモデナなどが一大産地として名を馳せています。モデナのラテン語が社名となっているMUTINAはユニークな視点から面を捉え、タイルのデザイン性に力を注ぐタイルメーカーのひとつ。今回は一般的なショールームの概念とは少し異なるMUTINAのショールームを訪ねました。



想像を膨らませるための住まい

家具や洗面、素材まで様々なメーカーが軒を連ねるミラノ市内の中心地。その一角にCasa MUTINA Milanはあります。といっても大きなサインやウィンドウはなくあるのは普通の住宅と見まがうような小さなドア。インターフォンを鳴らし、ドアを開けてもらすと壁・床ともにタイルが張られた空間が広がっていました。2020年にオープンしたCasa MUTINA Milanは建築家やデザイナーなど顧客に向けたアポイント制のプライベートなショールーム。タイルは単体では最終的に張ったイメージを想像することはなかなか難しいですが、ここでは具体的に想像を膨らませてもらうために実際に誰かが住んでいるアパートのように細かく部屋が分かれています。キッチン、ダイニングなどリアルなシーン展開の床壁あちこちにタイルが張られています。絶妙にレイアウトされた色や質感は、一辺倒でないタイルの使い方やインスピレーション源になるものばかり。タイルがより自由に空間の表情や密度を高めてくれることを教えてください。タイルの張り替えは年2回行われ、その都度新しい空間に出会うことができます。



アートと共鳴するタイル

MUTINAはMUTINA for artという現代アートのための活動を行なっています。ここミラノのショールームでは国際的なアーティストやギャラリーとコラボレーションし、定期的に個展やグループ展を開催しています。デザイン背景があるMUTINAのタイルはアーティストや作品と共鳴しそれぞれの作家性を引き立てている様でした。ひとつの面材という垣根を超え、人々の創造性の深さやインスピレーション源になる、まるで小さな美術館のようなCasa MUTINA。知り合いの家を訪ねるようにアットホームな雰囲気の中で、進化し続けるタイル空間を体験してみてください。

Casa MUTINA Milan

Via Cernaia,1A 20121 Milano MI Italy
39 02 36725690
casamutinami@mutina.it
完全予約制



平田タイル ショールーム

東京 東京都中野区本町1-32-2 2F
Tel 03-5308-1135

名古屋 愛知県名古屋市中区錦2-20-8 東栄ビル 2F
Tel 052-218-3186

大阪 大阪府大阪市西区阿波座1-1-10 1・2・3F
Tel 06-6532-2002

福岡 福岡県福岡市博多区店屋町1-35
博多三井ビルディング2号館1F
Tel 092-263-5075

営業時間 10:00-17:00 水曜・日曜・祝日定休
*福岡のみ上記に加え土曜日も定休
完全予約制

営業時間は予告なく変更となる場合がございます。各ショールームへの電話及びホームページよりご確認ください。

tiles オンラインコンサルティングも承っております
<https://tiles.hiratatile.co.jp/>

今号の表紙タイル Phenomenon Rain



雨がしたり落ちるような、ラインの美しさが際立つMUTINAのタイル。表面の凹凸が空間に洗練された陰影をもたらします。



ain staff
creative director / Editor
Fumukawa Mayuko
Art director / Designer
So Sachi (ummm)
Photographer
Morito Yuki
Illustrator
Wakuda Chihiro

aiu (あいう) は母音が名前の由来になっている、タイルと焼きものにまつわる背景を紹介する情報ツールです。

[aiu] 発行年月日: 2023年4月20日 第5号発行
制作: aiu編集部 発行元: 株式会社 平田タイル
大阪市西区阿波座1-1-10 06-6532-1284